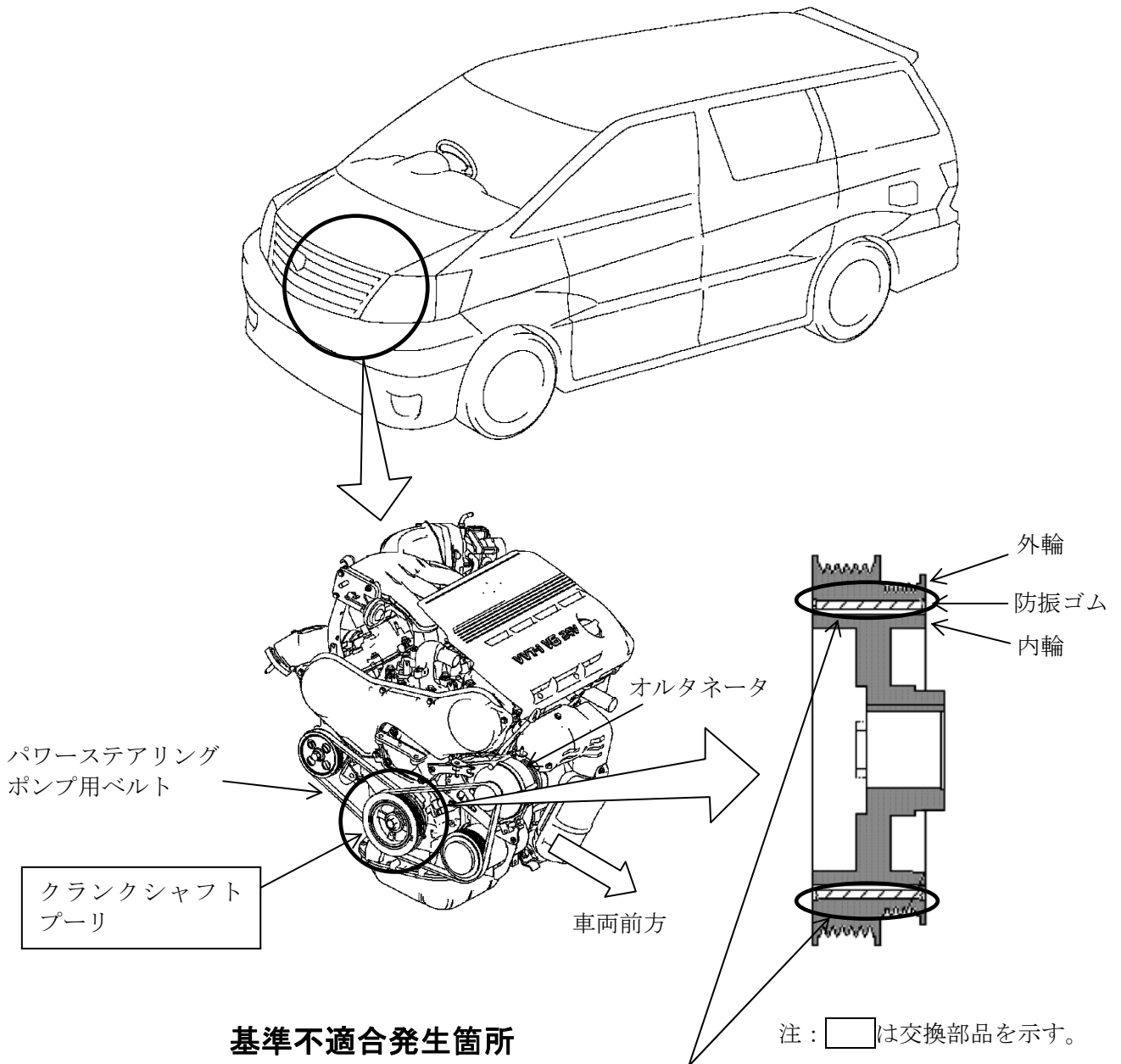


# 改善箇所説明図



エンジンのクランクシャフトプーリにおいて、プーリ外輪と防振ゴム間の接着剤塗布量が不足しているものがある。そのため、当該接着部が剥がれて、プーリ外輪が空転することで異音が発生したり、充電警告灯が点灯することがある。また、最悪の場合、パワーステアリングポンプ用ベルトが外れて、急にハンドル操作力が増大するおそれがある。

## 改善の内容

全車両、当該クランクシャフトプーリの製造記号を確認し、該当するものは良品に交換する。

## 識別

改善済車両には、下記位置に黄色ペイントを塗布する。

- アルファード<sup>®</sup> G、アルファード<sup>®</sup> V、エスティマ<sup>®</sup> L、エスティマ<sup>®</sup> T、クルガー<sup>®</sup> V、クルガー<sup>®</sup> L、クルガー<sup>®</sup>ハイブリッド<sup>®</sup>、ハイア<sup>®</sup>ハイブリッド<sup>®</sup>
  - ：エンジンルーム内の右サスペンションタワー前面
- ハイア<sup>®</sup> ：車台番号の先頭桁上部
- ウィングダム<sup>®</sup>：エンジンルーム内の右サスペンションタワー上面